

2010年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」の概要

1 年次調査

- 調査対象者 学部 2010 年度生全員。
- 調査方法 2010 年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。
- 回収状況 有効回収数は 4858 票であり、3 月 31 日時点での在籍者数に対する回収率は 79.2%であった。

学部別回収状況（1 年次調査）

	有効票数	在学者数	回収率 (%)
神学部	56	64	87.5
文学部	583	671	86.9
社会学部	394	438	90.0
法学部	720	946	76.1
経済学部	723	931	77.7
商学部	680	881	77.2
政策学部	301	381	79.0
文化情報学部	238	288	82.6
理工学部	616	914	67.4
生命医科学部	247	295	83.7
スポーツ健康科学部	135	176	76.7
心理学部	127	148	85.8
所属不明	38	-	
合計	4858	6133	79.2

2010 年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2010 年度生用)

アンケートご協力をお願い

同志社大学教育開発センターでは、より良い1年次教育プログラムの開発を目的として、みなさんが1年間学ばれた時点で本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知るための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で26問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

同志社大学教育開発センター

E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3277

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 神学部神学科 | 12. 法学部法律学科 | 23. 理工学部エネルギー機械工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 13. 法学部政治学科 | 24. 理工学部機能分子・生命化学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 14. 経済学部経済学科 | 25. 理工学部化学システム創成工学科 |
| 4. 文学部美学芸術学科 | 15. 商学部商学科 | 26. 理工学部環境システム学科 |
| 5. 文学部文化史学科 | 16. 政策学部政策学科 | 27. 理工学部数理システム学科 |
| 6. 文学部国文学科 | 17. 文化情報学部文化情報学科 | 28. 生命医科学部医工学科 |
| 7. 社会学部社会学科 | 18. 理工学部インテリジェント情報工学科 | 29. 生命医科学部医情報学科 |
| 8. 社会学部社会福祉学科 | 19. 理工学部情報システムデザイン学科 | 30. 生命医科学部医生命システム学科 |
| 9. 社会学部メディア学科 | 20. 理工学部電気工学科 | 31. スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 |
| 10. 社会学部産業関係学科 | 21. 理工学部電子工学科 | 32. 心理学部心理学科 |
| 11. 社会学部教育文化学科 | 22. 理工学部機械システム工学科 | |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学 2. 自宅外通学

4. あなたの2010年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満 | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上 |

5. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない

6. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 一般入試 | 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) |
| 2. 指定校推薦入試 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校) |
| 3. 推薦選抜入試(公募制) | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試
(法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 4. AO入試 | 11. スポーツ推薦選抜入試 |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試 | 12. 社会人特別選抜入試 |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) | 13. 外国人留学生入試 |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) | |

7. 本学は、あなたが何番目に志望した大学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 第一志望 2. 第一志望以外

8. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現役 2. 一浪 3. 二浪 4. その他(留学生、社会人など)

9. あなたが大学に進学した理由として以下の項目はどれくらい重要ですか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	まったく重要ではない	あまり重要ではない	いくらか重要である	非常に重要である
1) 就職に有利だから	1	2	3	4
2) 周りの人たちが進学するから	1	2	3	4
3) 親の希望だから	1	2	3	4
4) すぐに働きたくなかったから	1	2	3	4
5) 大学で学ぶ内容に興味があったから	1	2	3	4
6) 幅広い教養を身につけたかったから	1	2	3	4
7) 専門的知識を身につけたかったから	1	2	3	4
8) 学生生活を楽しんでみたかったから	1	2	3	4
9) 資格を取るために必要だったから	1	2	3	4
10) 大卒の学歴を得たいから	1	2	3	4

10. あなたは志望校として本学を選択するにあたって、どのような点を重視しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------------|-------------------|
| 1. 建学の精神や理念に惹かれた | 7. 研究面に優れた教員がいる | 13. 高校から推薦入学制度がある |
| 2. イメージが良い | 8. 就職に有利である | 14. 自宅から通学できる |
| 3. 自分の好きな分野を学べる | 9. 親や知人の出身校である | 15. 京都の文化に触れたい |
| 4. 先端の学問を学べる | 10. 親や知人に勧められた | 16. その他 |
| 5. 将来性の高い分野を学べる | 11. 資格が取れる | (具体的に) |
| 6. 教育面に優れた教員がいる | 12. 自分の偏差値にふさわしい | 17. とくに考えていなかった |

11. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、1年間本学で学んで、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				1年間学んで			
	身につけていなかった	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につけていた	身につけなかった	あまり身につけなかった	やや身につけた	身につけた
1) 授業の重要なポイントをノートにまとめる力	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 図書館の利用方法や文献を調べる力	1	2	3	4	1	2	3	4
3) パソコン等を使って文書や資料を作成する力	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
12) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
13) 英語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
15) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
16) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
21) 効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4

12. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 教養演習科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 学際科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

13. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

14. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

15. あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

16. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方にふれること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

17. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	(履修から利用していない)
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9
6) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9
7) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9

18. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう 思わない	あまり そう 思わ ない	やや そう 思っ つ	そう 思っ つ
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

19. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	やや あてはまる	あまりあては まらない	あてはまらな い
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4
7) 大学では毎日新しい発見がある	1	2	3	4

20. あなたは、次のような項目について、大学がもっと教えてほしいと思いますか、そうは思いませんか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	教 え て ほ し く な い	ど ち ら か と い え ば 教 え て ほ し く な い	ど ち ら か と い え ば 教 え て ほ し い	教 え て ほ し い
1) 大学の建学の精神や理念	1	2	3	4
2) 大学の歴史・伝統	1	2	3	4
3) カリキュラム編成や卒業単位の習得方法	1	2	3	4
4) 履修登録の具体的な方法	1	2	3	4
5) 大学内の施設・設備の利用方法	1	2	3	4
6) 大学で利用できる制度やサービス(留学、就職相談など)	1	2	3	4

21. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動(勉強、文章作成、読書、実験、リハーサル等)を行いましたか。まったく学習しなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

22. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。アルバイトをまったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

23. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

24. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た	あ ま り し な か っ た	た ま に し た	日 常 的 に し た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4	
2) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
3) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
4) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
5) 学習の計画を立てる	1	2	3	4	
6) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
7) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
8) ボランティア活動をする	1	2	3	4	
9) クラブ・サークル活動を行う	1	2	3	4	
10) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	

25. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば不満である 5 不満である

26. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 民間企業に就職する 2. 公務員や教員として就職する 3. 自営業や家業を継ぐ
 4. 大学院に進学する 5. 他大学に(編)入学する 6. 専門学校に進学する
 7. まだわからない 8. その他(具体的に)

27. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですが。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	重要でない	あまり重要でない	ある	やや重要である	重要である
1) 大学で学んだことが生かせること	1	2	3	4	
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4	
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4	
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4	
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4	

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

2010 年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2010 年度生用)

アンケートご協力をお願い

同志社大学教育開発センターでは、より良い1年次教育プログラムの開発を目的として、みなさんが1年間学ばれた時点で本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知るための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で26問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

同志社大学教育開発センター

E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3277

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 神学部神学科 | 12. 法学部法律学科 | 23. 理工学部エネルギー機械工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 13. 法学部政治学科 | 24. 理工学部機能分子・生命化学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 14. 経済学部経済学科 | 25. 理工学部化学システム創成工学科 |
| 4. 文学部美学芸術学科 | 15. 商学部商学科 | 26. 理工学部環境システム学科 |
| 5. 文学部文化史学科 | 16. 政策学部政策学科 | 27. 理工学部数理システム学科 |
| 6. 文学部国文学科 | 17. 文化情報学部文化情報学科 | 28. 生命医科学部医工学科 |
| 7. 社会学部社会学科 | 18. 理工学部インテリジェント情報工学科 | 29. 生命医科学部医情報学科 |
| 8. 社会学部社会福祉学科 | 19. 理工学部情報システムデザイン学科 | 30. 生命医科学部医生命システム学科 |
| 9. 社会学部メディア学科 | 20. 理工学部電気工学科 | 31. スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 |
| 10. 社会学部産業関係学科 | 21. 理工学部電子工学科 | 32. 心理学部心理学科 |
| 11. 社会学部教育文化学科 | 22. 理工学部機械システム工学科 | |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学 2. 自宅外通学

4. あなたの2010年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. 1.00 ポイント未満 2. 1.00～1.49 ポイント 3. 1.50～1.99 ポイント
4. 2.00～2.49 ポイント 5. 2.50～2.99 ポイント 6. 3.00 ポイント以上
5. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。
1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない
6. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
1. 一般入試 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校)
2. 指定校推薦入試 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校)
3. 推薦選抜入試(公募制) 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試
4. AO入試 (法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む)
5. 大学入試センター試験を利用する入試 11. スポーツ推薦選抜入試
6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) 12. 社会人特別選抜入試
7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) 13. 外国人留学生入試
7. 本学は、あなたが何番目に志望した大学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. 第一志望 2. 第一志望以外
8. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. 現役 2. 一浪 3. 二浪 4. その他(留学生、社会人など)
9. あなたが大学に進学した理由として以下の項目はどれくらい重要ですか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	まったく重要ではない	あまり重要ではない	いくらか重要である	非常に重要である
1) 就職に有利だから	1	2	3	4
2) 周りの人たちが進学するから	1	2	3	4
3) 親の希望だから	1	2	3	4
4) すぐに働きたくなかったから	1	2	3	4
5) 大学で学ぶ内容に興味があったから	1	2	3	4
6) 幅広い教養を身につけたかったから	1	2	3	4
7) 専門的知識を身につけたかったから	1	2	3	4
8) 学生生活を楽しんでみたかったから	1	2	3	4
9) 資格を取るために必要だったから	1	2	3	4
10) 大卒の学歴を得たいから	1	2	3	4

10. あなたは志望校として本学を選択するにあたって、どのような点を重視しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------------|-------------------|
| 1. 建学の精神や理念に惹かれた | 7. 研究面に優れた教員がいる | 13. 高校から推薦入学制度がある |
| 2. イメージが良い | 8. 就職に有利である | 14. 自宅から通学できる |
| 3. 自分の好きな分野を学べる | 9. 親や知人の出身校である | 15. 京都の文化に触れたい |
| 4. 先端の学問を学べる | 10. 親や知人に勧められた | 16. その他 |
| 5. 将来性の高い分野を学べる | 11. 資格が取れる | (具体的に) |
| 6. 教育面に優れた教員がいる | 12. 自分の偏差値にふさわしい | 17. とくに考えていなかった |

11. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、1年間本学で学んで、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				1年間学んで			
	身につけていなかった	身についた	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につかなかった	身についた	あまり身につかなかった	やや身についた
1) 授業の重要なポイントをノートにまとめる力	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 図書館の利用方法や文献を調べる力	1	2	3	4	1	2	3	4
3) パソコン等を使って文書や資料を作成する力	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
12) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
13) 英語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
15) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
16) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
21) 効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4

12. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 教養演習科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 学際科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

13. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

14. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

15. あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

16. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方にふれること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

17. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	(履修から利用していない)
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9
6) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9
7) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9

18. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう 思わない	あまり そう 思わ ない	やや そう 思 う	そう 思 う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

19. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	やや あてはまる	あまりあては まらない	あてはまらな い
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4
7) 大学では毎日新しい発見がある	1	2	3	4

20. あなたは、次のような項目について、大学がもっと教えてほしいと思いますか、そうは思いませんか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	教 え て ほ し く な い	ど ち ら か と い え ば 教 え て ほ し く な い	ど ち ら か と い え ば 教 え て ほ し い	教 え て ほ し い
1) 大学の建学の精神や理念	1	2	3	4
2) 大学の歴史・伝統	1	2	3	4
3) カリキュラム編成や卒業単位の習得方法	1	2	3	4
4) 履修登録の具体的な方法	1	2	3	4
5) 大学内の施設・設備の利用方法	1	2	3	4
6) 大学で利用できる制度やサービス(留学、就職相談など)	1	2	3	4

21. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動(勉強、文章作成、読書、実験、リハーサル等)を行いましたか。まったく学習しなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

22. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。アルバイトをまったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

23. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

24. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た	あ ま り し な か っ た	た ま に し た	日 常 的 に し た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4	
2) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
3) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
4) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
5) 学習の計画を立てる	1	2	3	4	
6) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
7) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
8) ボランティア活動をする	1	2	3	4	
9) クラブ・サークル活動を行う	1	2	3	4	
10) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	

25. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば不満である 5 不満である

26. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 民間企業に就職する 2. 公務員や教員として就職する 3. 自営業や家業を継ぐ
 4. 大学院に進学する 5. 他大学に(編)入学する 6. 専門学校に進学する
 7. まだわからない 8. その他(具体的に)

27. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですが。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	重要でない	あまり重要でない	やや重要である	重要である
1) 大学で学んだことが生かせること	1	2	3	4
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4

学生 ID の記入について

教育開発センターでは、みなさんが3年次を終えられる時点で同様の調査を実施し、大学1年生の時に感じられたことが、どのように変化したかを探ることを計画しています。今回の回答と3年次終了時点での回答を照合させることで、1年次と3年次の変化を捉え、今後の教育改善の取り組みに役立てていきたいと考えております。

このような目的のため、学生IDの記入をお願いしています。もちろん、この調査は回答者個人を特定して分析するものではなく、学生全体としての傾向を把握するためのものです。したがって、調査の結果から個人情報漏洩することは絶対にありません。

以上のような趣旨をご理解いただいたうえで、学生IDの利用に同意いただける方は下記の「1. 同意する」に○をつけ、あなたの学生IDの記入をお願いいたします。

1. 同意する

↓

2. 同意しない

↓

ID

--	--	--	--	--	--	--	--

無記名のまま提出してください。

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

Q9：あなたが大学に進学した理由として以下の項目はどれくらい重要ですか。

Q9では、学生がどのような理由で大学に進学してきたのかを質問している。具体的には、図1に示したような10項目を設定し、各項目について「まったく重要ではない」から「非常に重要である」までの4段階の選択肢で尋ねている。

図1では、「いくらか重要である」と「非常に重要である」の合計（%）が多い順に項目を並べてある。回答の結果を集計した図1をみると、重視された割合が最も高いのは、「学生生活を楽しみたい」であり、「大卒の学歴を得たい」、「就職に有利」といった理由が続いている。加えて、「幅広い教養を身につけたい」、「大学で学ぶ内容に興味があった」、「専門的知識を身につけたい」なども多くの学生に重視されている。

一方、これらの項目に対して相対的に重要性が低いのは、「周りの人たちが進学するから」、「資格を取るために必要だった」、「親の希望」、「すぐに働きたくない」といった進学理由であり、重要ではない（「まったく重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計）と回答した学生の割合は半数強を占めている。

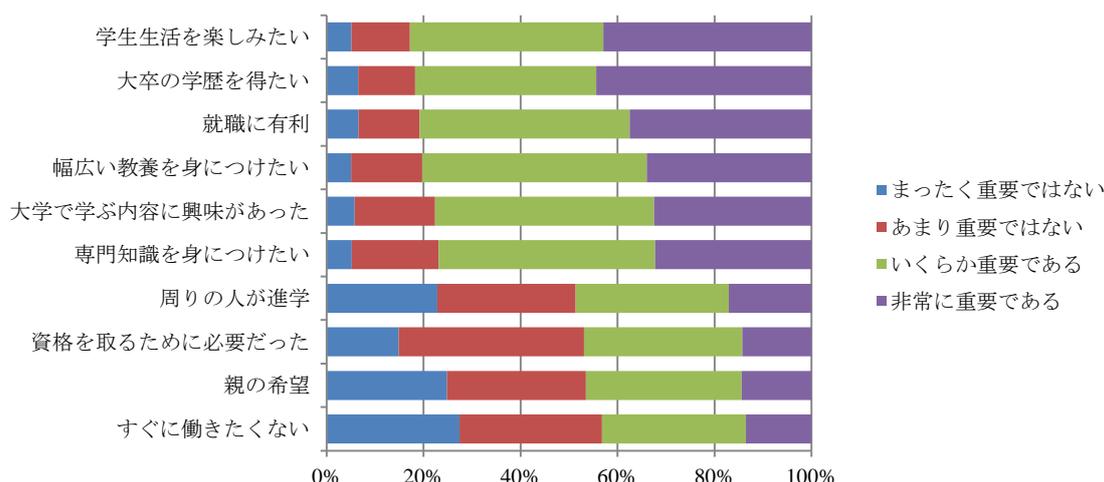


図1：大学進学理由（Q9）

Q10：あなたは志望校として本学を選択するにあたって、どのような点を重視しましたか。

Q10では、志望校として本学を選択する際に、重視した理由を列挙し、該当する項目を複数選んでもらっている。図2は、各項目に対して、重視した学生の割合を集計した結果である。図2からも明らかなように、「イメージが良い」ことを重視して本学を選択した学生は、全体の半数強にのぼっている。ここから、多くの入学者は本学に対する漠然としたイメージの良さに惹かれ、本学を志望校として選択したことがわかる。加えて、「就職に有利である」である点を重視した学生も4割程度存在している。大学進学理由（Q9）においても、「就職に有利だから」という理由が重視されていた点を考慮すると、学生にとって卒業後の就職は高い関心事となっていることがうかがえる。また、3割程度の学生は、「自分の好きな分野を学べる」ことを重視して本学を志望している。

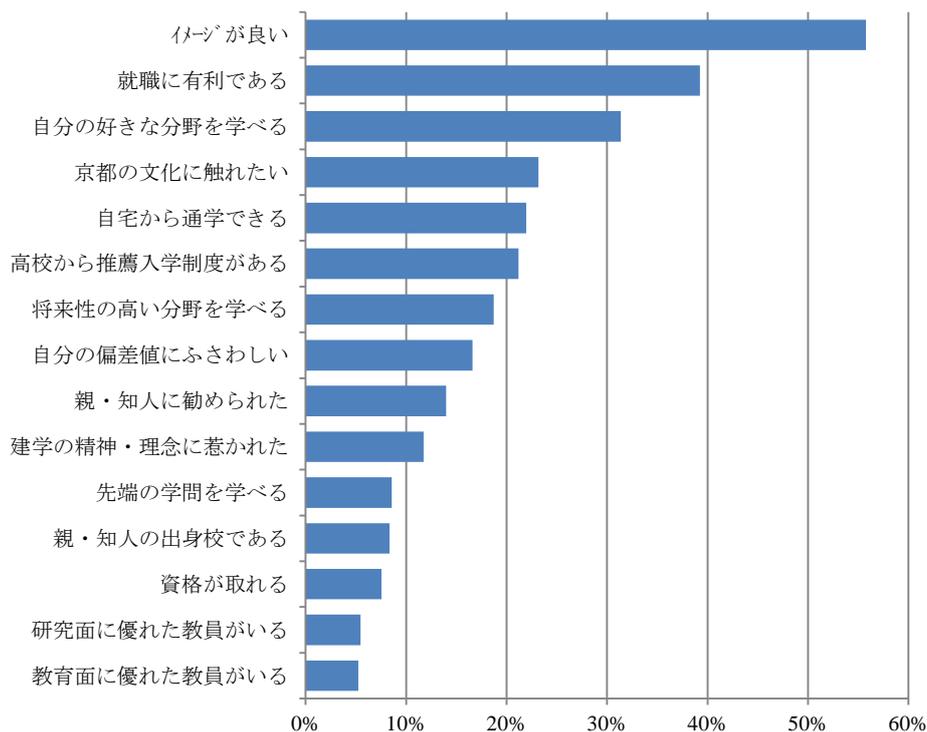


図 2 : 本学選択理由 (Q10)

Q11 : あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。
また、1年間本学で学んで、その力がさらに身についたと思いますか。

Q11 では、21 個の知識・技能項目を提示し、大学入学から 1 年を経て、そうした知識・技能がどの程度、習得できたと学生自身が認識しているのかを質問している（回答の選択肢は、「身につかなかった」、「あまり身につかなかった」、「やや身についた」、「身についた」の 4 段階である）。

図 3 では、「やや身についた」と「身についた」の合計 (%) が多い順に項目を並べている。これによると、最も多くの学生が獲得できたと認識している能力は、「パソコン等を使って文書や資料を作成する力」である。「やや身についた」まで含めると、81%の学生がパソコンを用いて文章を作成できるようになったと考えているようである。さらに、「定められた形式に従ってレポートを書く力」、「図書館の利用方法や文献を調べる力」などの項目も上位に位置している。

これらの項目に対して、相対的に下位に位置しているのが、「科学的・数量的にものごとを見る力」、「地域社会が直面する問題に対する理解」、「英語の能力」、「リーダーシップの能力」といった項目である。半数ほどの学生がこれらの能力を獲得できなかった（「身につかなかった」と「あまり身につかなかった」の合計）と認識しているようである。

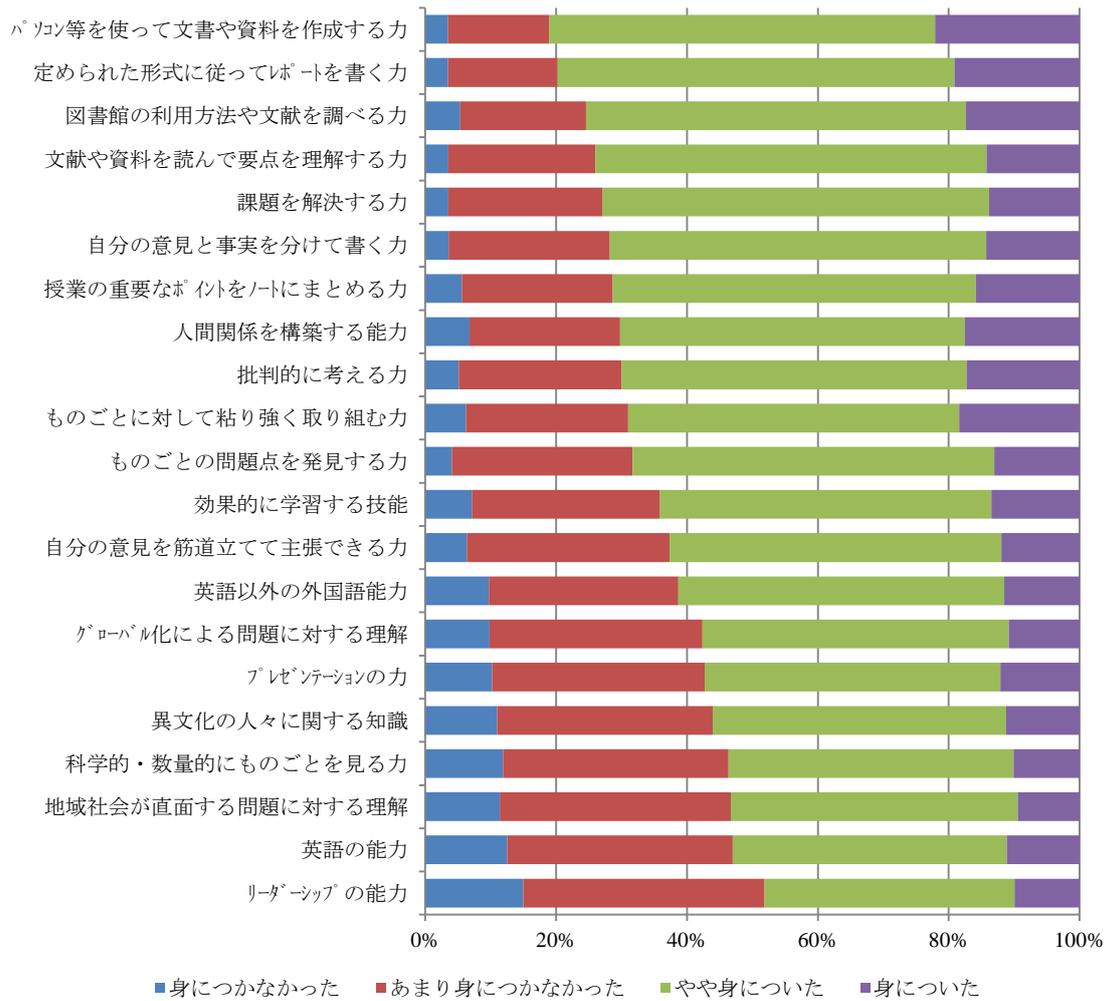


図3：知識・技能の獲得状況「1年間学んで」(Q11)

Q12：あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。

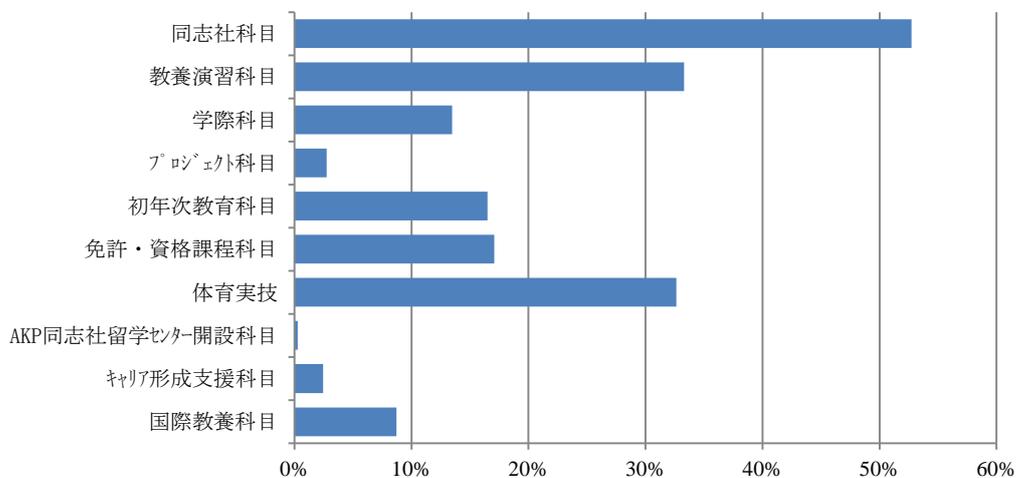


図4：履修した授業 (Q12)

Q12では、全学共通教養教育科目を中心に特徴的な授業科目の履修状況を尋ねている。回答の結果を集計した図4を見ると、本学の建学の精神やキリスト教思想を学ぶ「同志社科目」については、5割以上の学生が履修していることがわかる。さらに、高校から大学への学びの橋渡しとなる「初年次教育科目」を履修している学生は16.5%であった。

一方、回答者の中で、「プロジェクト科目」、「キャリア形成支援科目」を履修した学生は、それぞれ順に2.7%、2.4%であった。ただし、実際には、図4に示した科目を履修したにもかかわらず、回答しなかったケースも多いと考えられる。

Q13：あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。

Q13では、学生の授業への取組状況について11項目にわたり回答を求めている（回答の選択肢は「全くしない」、「あまりしない」、「たまにする」、「よくする」の4段階である）。図5は、頻度の多い順（「たまにする」と「よくする」の合計）に項目を整理したものである。図5から、「課題はきちんと提出する」ことについては8割以上の学生が行っていることが確認できる。さらに、「教員が黒板に書かなかったことでもノートに取る」ことや「試験の前に時間をかけて勉強する」ことについても、多くの学生が実行していることがわかる。これは、そうした取り組みが単位取得に大きく関係しているからだろう。

一方で、「授業をつまらなく感じる」という項目に対して、「たまにする」または「よくする」と回答した学生は合計（%）で7割を超えている。また、「業者の講義ノートを購入すること」や「授業内容について他の学生と議論すること」については半数程度の学生が行っているようである。

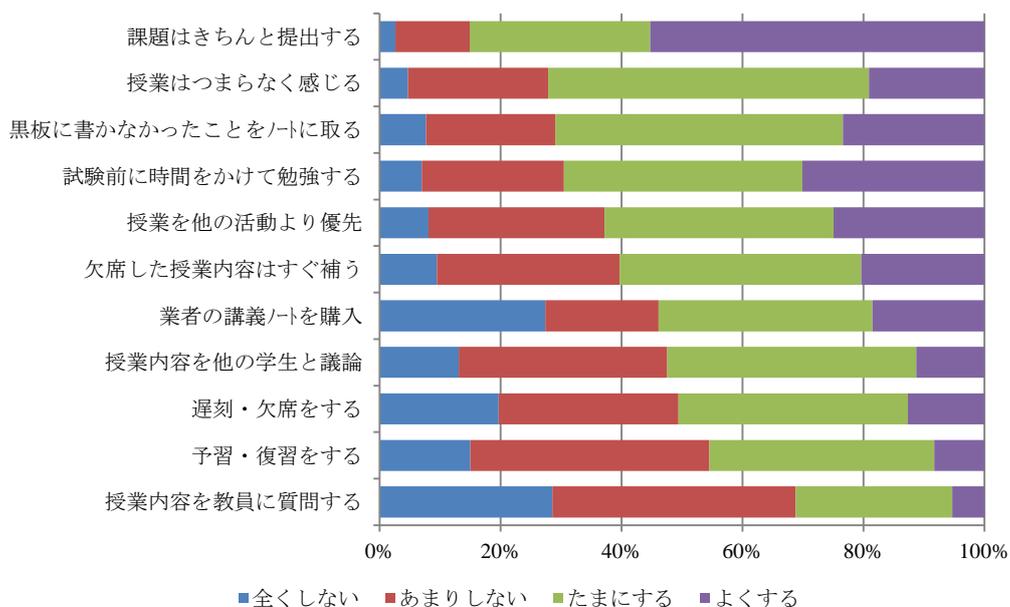


図5：授業に対する取り組み（Q13）

Q14：あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。

Q14では、これまでに受講した授業の形態・方法について質問している（回答の選択肢は、「全くなかった」、「あまりなかった」、「時々あった」、「よくあった」の4段階である）。

回答結果をまとめた図6から、「出欠の確認」や「定期的な課題提出」は日常的に実施されていることが確認できる。その一方、1年次終了時点では、4割以上の学生が「フィールド・ワーク」、「体験学習」、「実験・実習」といった形態の授業を経験していないことも示されている。

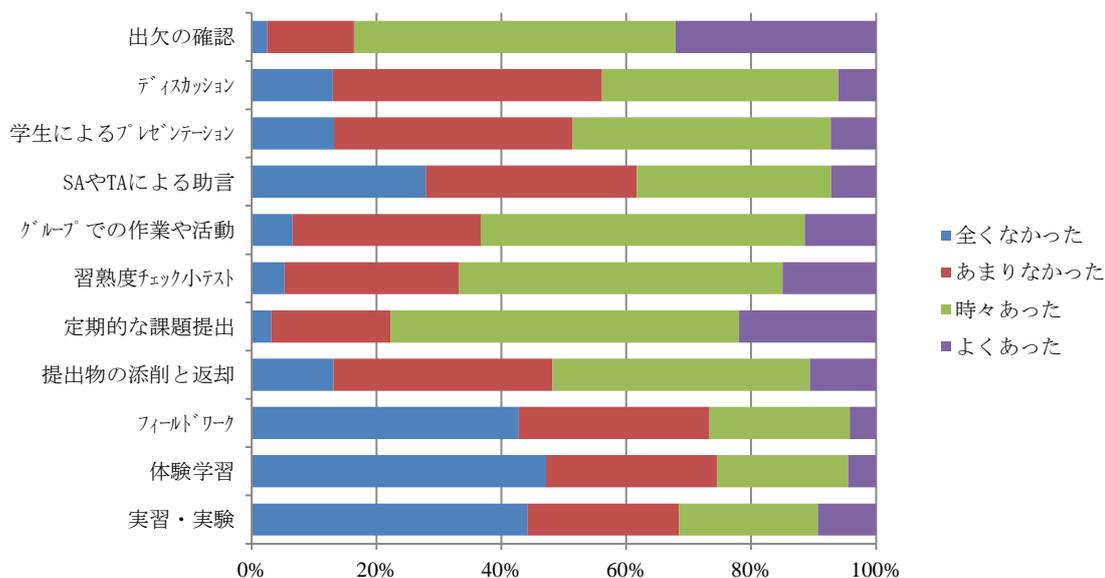


図6：授業の形態・方法（Q14）

Q15：あなたは、大学入学後につぎのような経験をしたことがありますか。

Q15では大学入学後の留学等の経験について質問している。図7は、それぞれの方法で留学を経験した学生の割合を集計したものだが、これによると、「語学研修プログラムへの参加」が5.3%、「正規交換留学生として留学」が2.7%、「私費留学生として留学」が4.0%であった。また、ここで質問した3つの項目のうち、どれか1つでも経験した学生の割合は、6.6%であった。

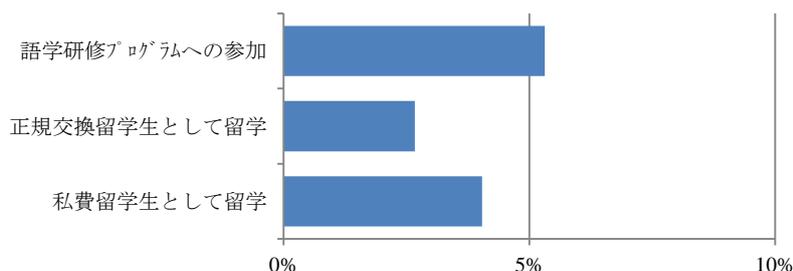


図7：留学等の経験（Q15）

Q16：あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。

Q16では、大学の授業内容がどの程度役立ったのかを、14項目にわたって質問し、それぞれの項目について「役に立たなかった」、「あまり役に立たなかった」、「やや役に立った」、「役に立った」の4段階で回答を求めている。図8では、「やや役に立った」と「役に立った」の合計（%）が多い順に項目を並べて整理している。

回答結果を集計した図8を見ると、「多様なものの見方にふれること」に対しては、8割近い学生が役立ったと考えていることがわかる（「役に立った」と「やや役に立った」の合計）。さらに、「一般常識を身につけること」や「大学生であるという自覚を持つこと」についても、本学の授業内容が役立ったと評価している学生が多いことが確認できる。高校までの授業スタイルと異なる大学の授業を受講するなかで、多くの学生は大学生としての自覚を実感しているのだろう。

その一方で、「リーダーシップを発揮すること」については、半数以上の学生が役に立たなかった（「役に立たなかった」と「あまり役に立たなかった」の合計）と評価しているようである。これは、通常の授業では、そのような機会が得にくいということの意味しているのだろう。

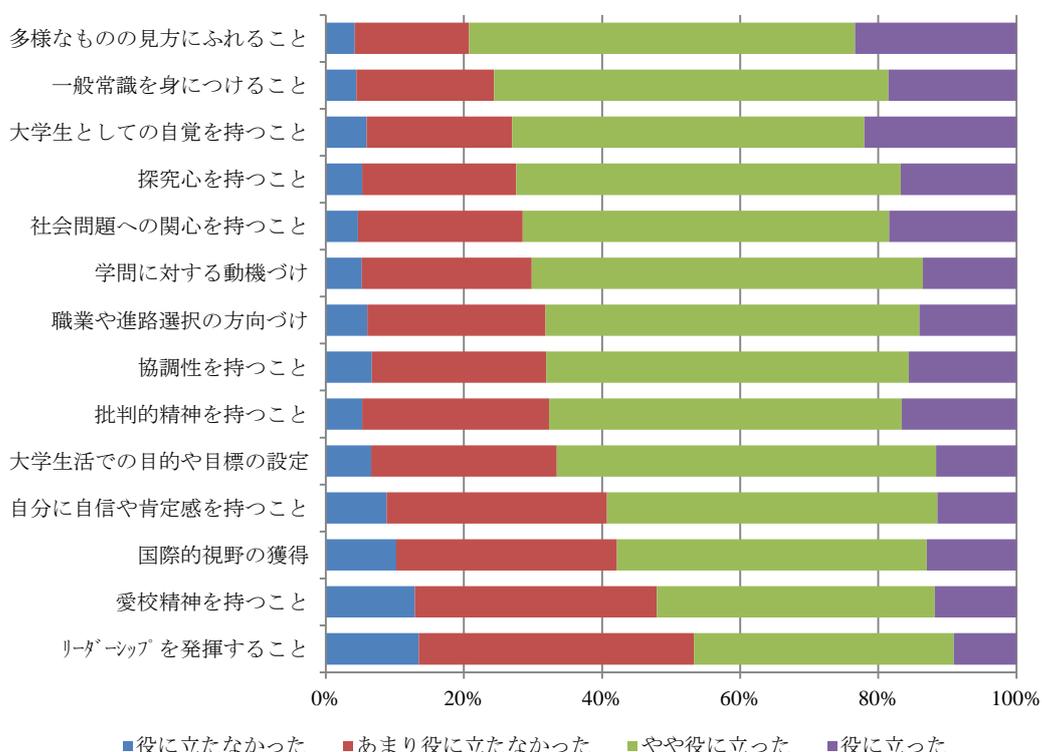


図8：授業に対する評価（Q16）

Q17：あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。

Q17では、大学の各種施設や授業科目など、領域別に満足度を尋ねている（回答の選択肢は、「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5段階である）。図9は、「満足」と「やや満足」の合計（%）が多い順に項目を並べたものである。

図9から、「やや満足」までを含めると、7割近くの学生が「図書館の環境や設備」に満足していることがわかる。さらに、パソコン利用環境や教室設備に関しても、多くの学生は満足しているようである。その一方、「英語・外国語の授業」に関して不満を表明した学生は他の項目と比較して多くなっている。

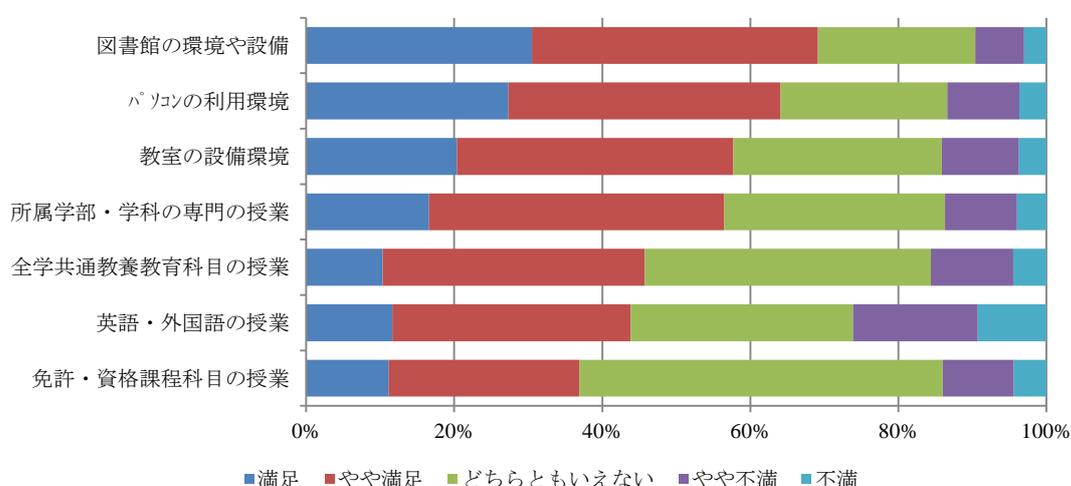


図9：領域別満足度（Q17）

*「免許・資格課程科目の授業」に関しては、Q12（授業の履修状況）と照合し、履修者のみに限定して集計している。

Q18：あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。

Q18では、学生が大学教育についてどのように考えているのかを捉えるために、大学での学びや大学教育の職業的な価値などに関して質問している（回答の選択肢は、「そう思う」、「ややそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4段階である）。

回答の結果を集計した図10からは、大学教育が本来的に持つ価値（「大学で学ぶことは楽しい」、「大学で学ぶこと自体に価値がある」）や大学教育の職業的価値（「大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ」、「大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる」）のいずれの側面についても、7割以上の学生が肯定的に考えている（「ややそう思う」と「そう思う」の合計）ことがわかる。ただし、「大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係ない」という意見に関しては、肯定的に考える学生と否定的に考える学生の割合が拮抗している。

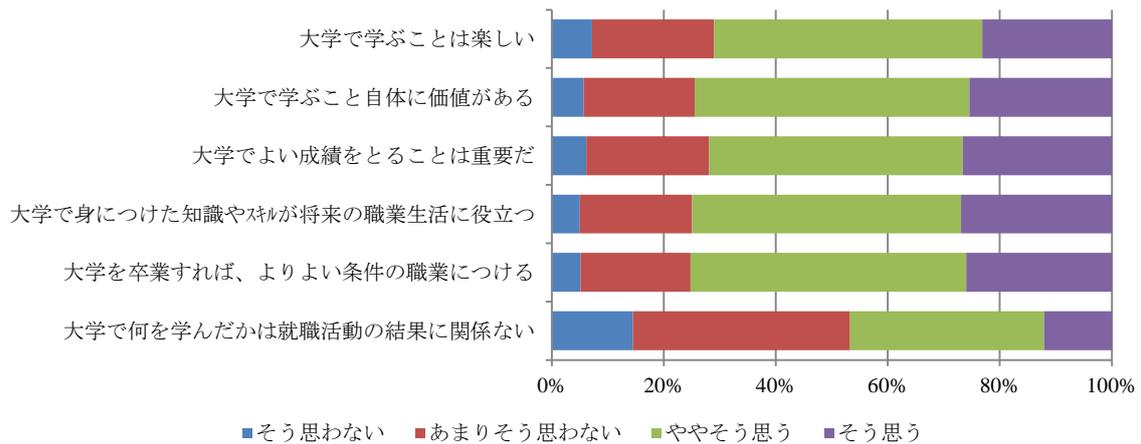


図 10：大学教育の価値（Q18）

Q19：あなたは、大学生生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。

Q19 では、大学への適応状況をつかむために、複数の項目にわたって質問を行い、それぞれについて「あてはまる」から「あてはまらない」までの4段階で回答を求めている。

回答結果をまとめた図 11 によると、多くの学生は所属学部・学科のみならず他大学にも友人がいることがわかる。一方、「大学の教員と交流がある」について、肯定的な回答（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）をした学生は4割を下回っている。全学共通教養教育科目や外国語科目の履修が中心である1年次では、教員とコミュニケーションを図る機会がまだ少ないのであろう。さらに、「大学の一人だと感じる」に対しては6割近い学生が肯定的な回答を行い、「大学では毎日新しい発見がある」についても半数程度の学生が肯定している。これらの結果を勘案すると、多くの学生は充実した大学生活を送っているものと推測できる。

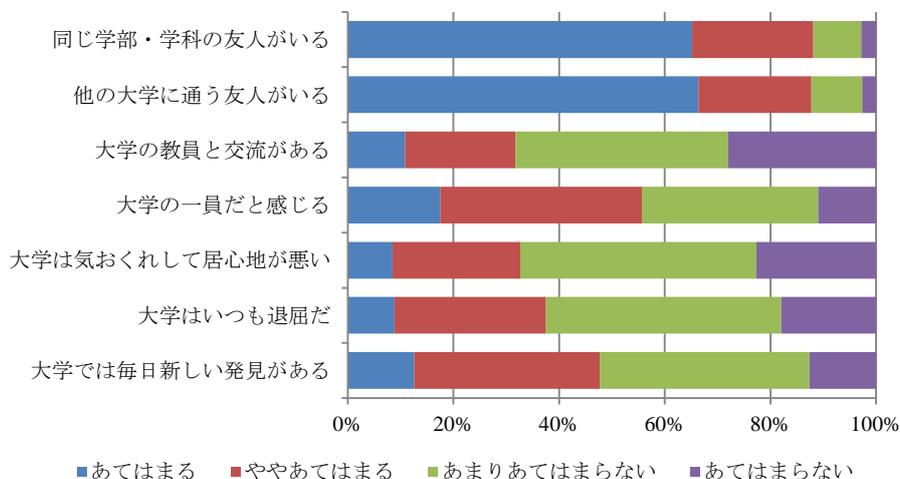


図 11：大学への適応（Q19）

Q20：あなたは、次のような項目について、大学にもっと教えてほしいと思いますか、そうは思いませんか。

Q20では、大学に対する学生の要望を捉えるために6つの項目を設定し、それぞれの項目について4段階で回答を求めている（回答の選択肢は、「教えてほしくない」、「どちらかといえば教えてほしくない」、「どちらかといえば教えてほしい」、「教えてほしい」である）。

「大学の建学の精神や理念」および「大学の歴史・伝統」について「教えてほしい」と回答した学生は両項目とも1割未満であり、「どちらかといえば教えてほしい」を含めると、過半数にとどかない。他方、単位取得・履修登録の具体的な手順や大学施設・サービスの利用方法に関しては、「どちらかといえば教えてほしい」を含めると、8割程度の学生が大学からの情報発信を望んでいることがわかる。

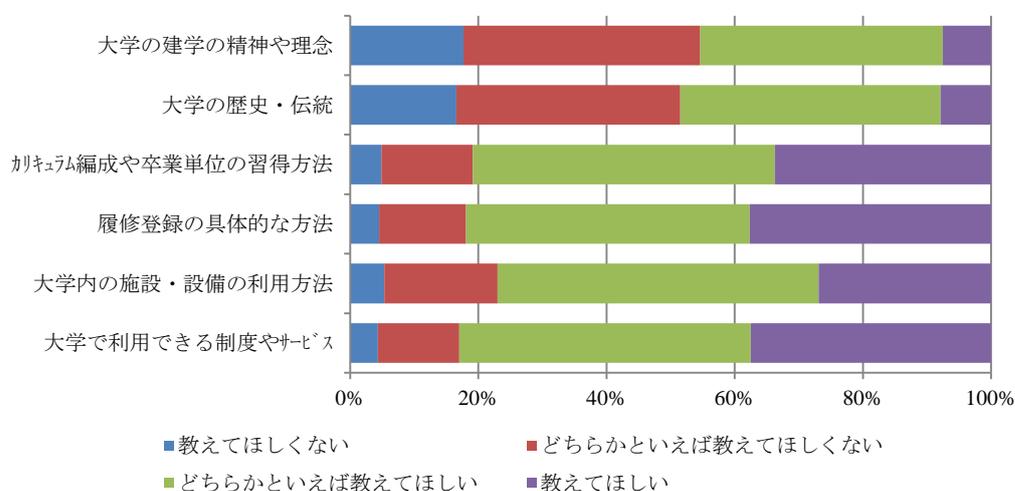


図 12：大学で教えてほしいこと（Q20）

Q21：あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動（勉強、文章作成、読書、実験、リハーサル等）を行いましたか。

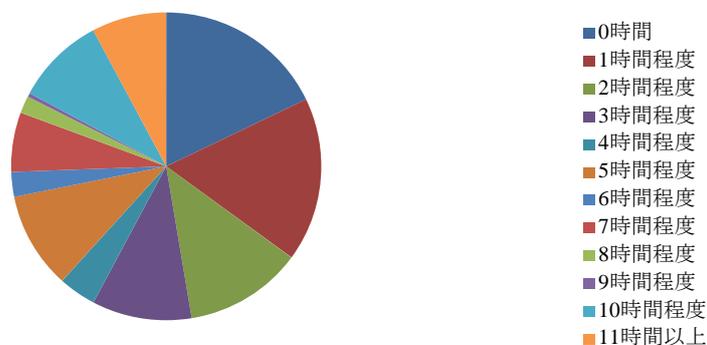


図 13：1週間あたりの授業外学習時間（Q21）

Q21 では、授業期間中の授業時間外に行った学習時間（1 週間あたり）について尋ねている。はじめに、全体の平均学習時間は 4.7 時間であった。図 13 は、回答を 1 時間ごとに区分して集計したものである。図 13 に示されている通り、全体では 2 割弱（17.8%）の学生は全く学習をしていない（1 週間あたりの学習時間が 0 時間）。ここに、「1 時間程度」と「2 時間程度」を含めると、半数程度（47.3%）の学生の学習時間は 2 時間程度におさまっている。その一方で、1 週間あたりの学習時間が 10 時間を越える学生も 2 割弱存在する（「10 時間程度」と「11 時間以上」は、それぞれ 9.3%と 7.8%）。

Q22：あなたは授業期間中に、通常 1 週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。

Q22 では、授業外学習時間（Q21）と同様の形式で、1 週間あたりのアルバイト時間を質問している。アルバイト時間の平均は 9.1 時間であった。図 14 ではアルバイト時間を 5 時間ごとに区分してまとめているが、これによると、全体では、およそ 3 割の学生はアルバイトをしていない。また、アルバイトを行っている学生の中で最も多いのは、「6-10 時間程度」の 18.6%であり、以下、「11-15 時間程度（15.8%）」、「16-20 時間程度（13.5%）」が続いている。

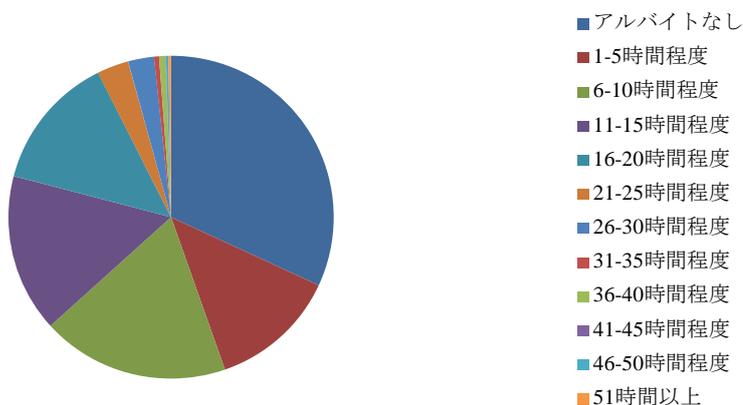


図 14：1 週間あたりのアルバイト従事時間（Q22）

Q23：あなたは、最近 3 ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書（漫画、趣味・娯楽雑誌を除く）をしましたか。

学生の読書習慣について尋ねたのが Q23 である。図 15 では、最近 3 ヶ月間の読書量を集計しているが、「5 冊以上」と回答した学生が 22.8%で最も多い。「1 冊」から「3 冊」については、それぞれ 15%から 20%程度であった。一方で、「0 冊」と回答した学生も 18.6%おり、ばらつきが大きくなっている。

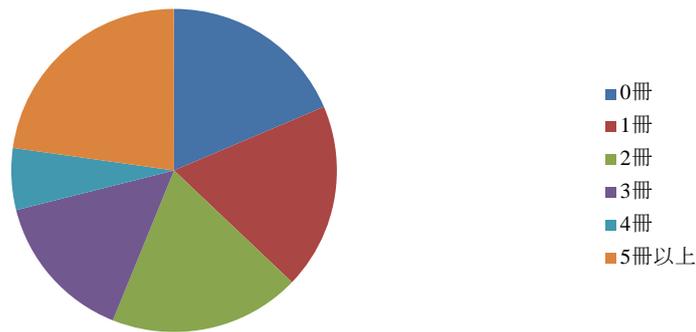


図 15 : 読んだ本の冊数 (Q23)

Q24 : あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

Q24 では、大学入学後の学習・生活習慣を捉えるために、10の項目を設定し、各項目の行動頻度を尋ねている（回答の選択肢は、「しなかった」、「あまりしなかった」、「たまにした」、「日常的にした」の4段階である）。回答結果を示した図 16 によると、図書館を利用しなかった学生はごく一部（5.4%）にとどまり、2割を超える学生は日常的に利用しているようである。さらに、頻度に違いはあるものの、多くの学生は「教科書以外の文献」や「新聞の政治・経済・国際面」を読んでいることがわかる（「しなかった」と回答した学生の割合は、順に 9.5%、18.4%）。これらに比べると、新聞、インターネット等を利用して英文記事を読む学生は限定されている。

また、クラブ・サークル活動を「日常的にした」学生は 37.8%、「たまにした」学生も 32.5%おり、両者を合わせると、およそ7割の学生が何らかの団体に参加している。一方で、ボランティア活動や建学の精神にふれる大学行事に参加した学生は半数ほどにとどまっている。

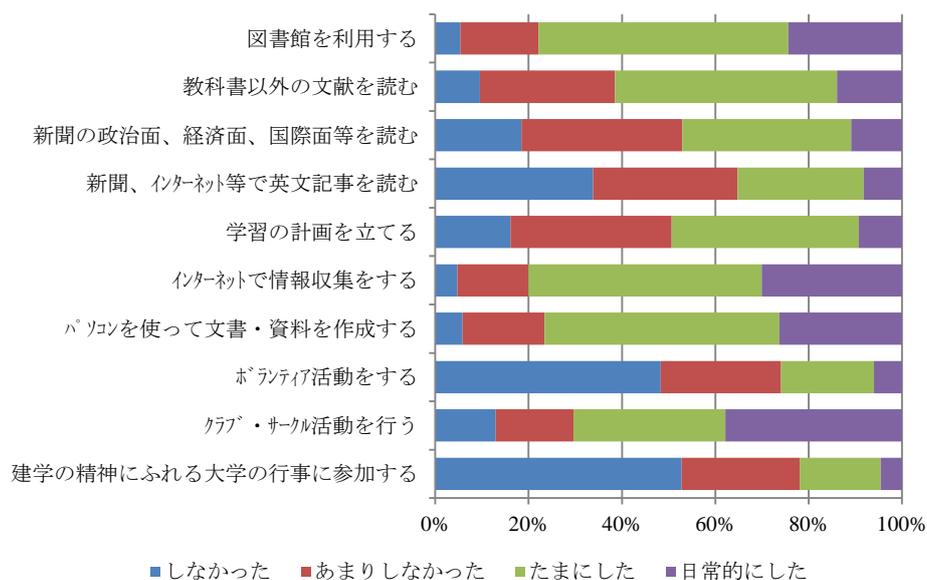


図 16 : 学習行動・生活習慣 (Q24)

Q25：あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。

Q25 では、教育全般に対する満足度を、「満足している」から「不満である」までの 5 段階の選択肢で尋ねている。回答結果を整理した図 17 から、「どちらかといえば満足している」と回答した学生が最も多いが (42.7%)、判断を留保する(「どちらともいえない」) 学生も 3 割ほど存在することがわかる。一方、不満を表明する学生は 1 割程度にとどまっている(「不満である」または「どちらかといえば不満である」と回答した学生は、それぞれ 3.3%と 7.6%)。

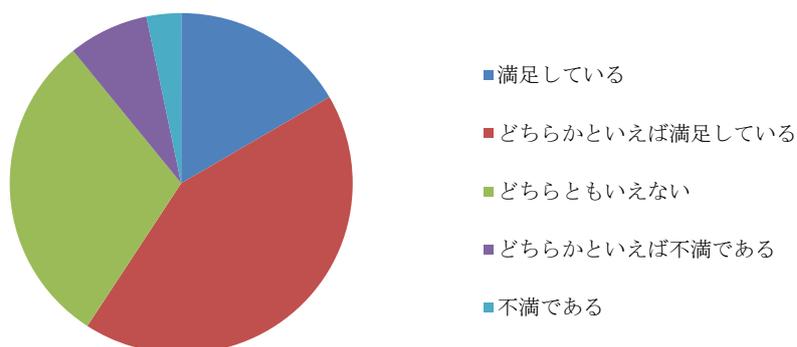


図 17：教育満足度 (Q25)

Q26：あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。

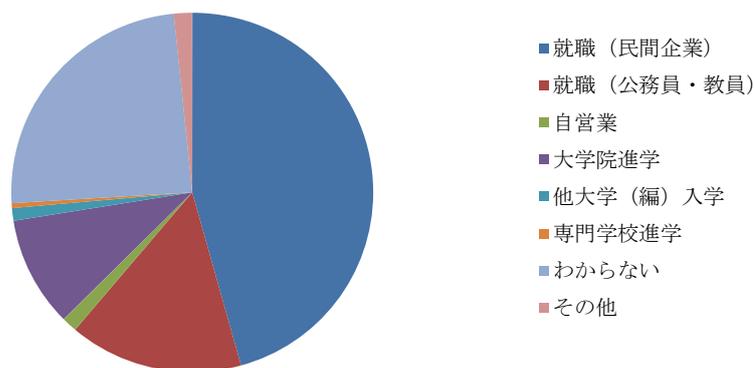


図 18：希望する進路 (Q26)

Q26 では、学部卒業後の希望進路について質問している。回答の結果を集計した図 18 によると、最も多くの学生が希望する進路は「民間企業に就職する」の 45.7%であり、以下、「公務員や教員として就職する」の 15.5%、「大学院に進学する」の 10.8%が続いている。その一方、現時点では「まだわからない」と回答した学生も 2 割強 (24.3%) 存在する。大学入学から 1 年ほどしか経っていない時点で、将来の進路を具体的にイメージすることは難しいのかもしれない。

Q27：あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですか。

最後の Q27 では、仕事や就職先を選択する際に、どのような点を重視するのかを捉えるために、5 つの項目を設定し、それぞれの項目について「重要でない」、「あまり重要でない」、「やや重要である」、「重要である」という 4 段階の選択肢で回答を求めている。図 19 は、回答の結果を集計したものである。これを見ると、重視する割合が最も高い項目は「自分の興味や関心に合っていること」であり、「やや重要である」までを含めると、9 割近い学生が就職先を選ぶ際の重要な基準であると回答している。

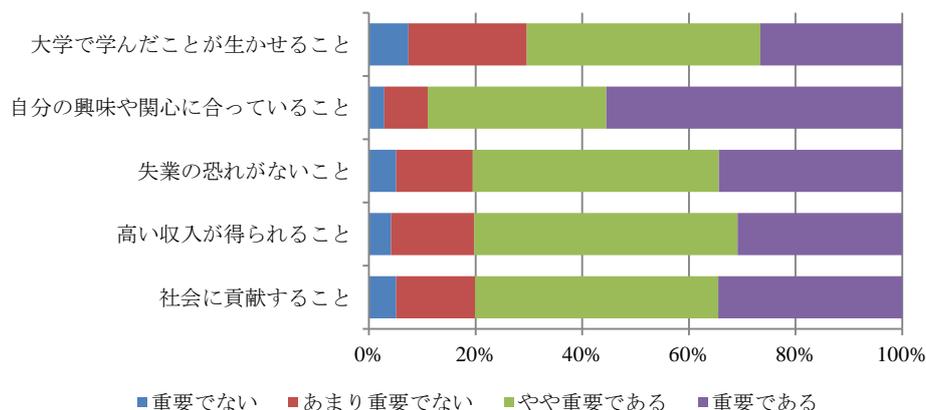


図 19：就職の際に重視すること（Q27）